

よかつた

青梅市

子どもたちの
五輪観戦

中止
決定

4度目の緊急事態宣言 オリンピックも中止を

青梅市の小中学生7000人が、国立競技場などでオリンピック・パラリンピック大会を観戦する計画だった「学校連携観戦」プログラムは「中止」とすることが、7月5日、青梅市教育委員会から発表されました。

学校から「中止」と説明を受けた保護者からは、「まわりにいる人たちもホッとした様子でした」と安堵の声が語られました。

私も中止を求めてきましたが、なんと言っても児童・生徒、保護者のみなさん、先生たちの声が市政に届いた結果であり、本当によかったと思います。

また、政府は4度目の緊急事態宣言を発出しました。「ワクチン頼み」では感染が抑えられない状況なうえに、ワクチン供給の不足も懸念されています。

ワクチン接種とあわせて、検査体制の強化や営業・くらしの補償など、日本では特に弱いとされてきたコロナ対策の強化が必要であることが浮き彫りになっています。

特に、宣言下でのオリンピック開催は、国民に対する矛盾したメッセージとしか言いようがありません。「今さら」と言わず、今からでも五輪は中止するべきです。

生活なんでも相談

今まで寄せられた相談など、裏面で紹介しています

いつでもお気軽にお声かけください

 @inoue_9

Facebook



電話

090-8489-5260

日本共産党青梅市議団

ホームページ

青梅市議会議員



井上たかし

活動報告 2021年7月号 号外

ご連絡は090-8489-5260

inouetakashi99@gmail.com



今まで、こんな相談をいただきました

市民のみなさんから相談をいただくと勉強になることが多いと実感します。市議会に送り出していただき2年がたちますが、市民の暮らしにまつわる様々なことの「仕組み」は、まだまだ知らないことがばかりです。ぜひ、気がついた点、疑問に思った点をお聞かせください。解決、改善にむけて取り組めますので、ご協力ください。

通学路の車の事故が心配

「通学路に見通しが悪い交差点があり心配」「学校の出入り口付近の安全対策を」など、地域の保護者の方から相談がありました。

現在、市の都市整備部管理課や市民安全課、教育委員会と話し合っています。



道路の「一時停止」が消えたまま

「一時停止の表示が消えたままで危ない」と聞き、周辺を歩いてみると、表示が消えている交差点が多いことに驚き、対応を求めました。

見通しが悪い交差点であり、警察も危険と判断したようで、「一時停止」の標識が設置され、道路にも「止まれ」の表示が書き直されました。道路については、道路の管理者である市や都などとともに、警察の対応・連携も必要です(と、知りました)。



市営墓地の管理はどうなっている？

「かつての同級生が亡くなり、市営墓地に納骨されたとのこと。お参りしようと思ったが詳細な場所がわからない。お子さんが引っ越ししたようで連絡もつかない。他の友人が市に聞いたが、教えてもらえなかった。どのような仕組みなのか」とのご相談。

市の環境政策課に聞いてみると、市は、新しく納骨する場合には「埋火葬許可書」を提出してもらうので、どのお墓にどなたが入っているか、市は把握している」とのことでした。

しかし、埋葬の情報をお伝えするのは、個人情報保護の問題があるとのこと。

相談いただいた方からは、「コロナ禍で家族葬が増え、せめてお墓参りをとって。民間の墓地では丁寧に教えてくれるが」と伺ったことを伝え、市として「どのような場合に、誰に、どのような内容を」など整理し、「個人情報の問題をクリアできるように、ぜひ改善を」と要望しました。

また、市営墓地について、市ホームページなどに必要な情報を掲載することも要望しました。